

一般社団法人日本調理科学会 平成 27 年度第 3 回理事会議事録

日時：平成 28 年 1 月 30 日（土）14 時 00 分～17 時 00 分

場所：お茶の水女子大学 本館 103 室（東京都文京区大塚 2-1-1）

出席者：大越ひろ会長、香西みどり筆頭副会長・石井克枝副会長・長野宏子副会長、綾部園子・新井映子・石田丈博・和泉秀彦・和泉眞喜子・磯部由香・今井悦子・岡本洋子・笠倉知子・川原崎淑子・坂本裕子・佐藤之紀・正田一貴・白杉直子・杉山智美・沼田貴美子・藤井恵子・松本美鈴・三成由美（以上理事 23 名）、市川朝子・小川宣子（以上監事 2 名） 欠席者：會田久仁子・北尾 悟（以上理事 2 名）

本日の理事会は定款第 33 条（理事 25 名中 23 名出席）の規定を満たし成立。

1. 会長挨拶： 大越ひろ会長より挨拶があった。
2. 議長選出 大越ひろ会長
議事録作成人 新井映子庶務担当理事
議事録署名人 大越ひろ会長、香西みどり筆頭副会長、市川朝子監事、小川宣子監事
3. 前回議事録確認（資料 1）： 平成 27 年度第 2 回議事録（資料 1）を確認した。

4. 議事

【報告事項】

（1）常置委員会報告

1) 編集委員会（資料 2）： 石井委員長より、資料 2 に基づいて報告がなされた。平成 27 年 4 月から現在までの投稿数が 30 編で、うち 9 編が却下となった。平成 26 年度よりも投稿数が減少しているため、増加に向けた協力をお願いしたい。50 周年記念企画と経費削減のため、平成 30 年を目途として学会誌の電子ジャーナル化を検討している。すべてを電子ジャーナルにするか、冊子体と併用にするか、年会費を変更するか等の問題については、今後会員から意見を聴取して決定する予定である。50 周年記念企画の学会誌表紙デザインの一新については、変更の必要性なしが委員会の意向である。企業広告の申込みが減少しているため、協力をお願いしたい。依頼文書が必要な場合には、ファイルを送信する。

2) 情報委員会（資料 3）： 石井委員長より、資料 3 に基づいて報告がなされた。平成 28 年度大会に向けた打ち合わせをアトラス社と行った。ホームページの内容を更新した。J-Stage に 48 巻 4 号と 5 号の論文を公開した。論文以外の学会記事を、ひとつの PDF ファイルにまとめて記載することを検討中である。12 月にメールニュースを発行した。10 月と 12 月にアドレスの更新を行った。

（2）特別委員会報告

1) 刊行委員会（資料 4）： 大越会長より、資料 4 に基づいて報告がなされた。40 周年記念事業である「クックリーサイエンス」は 50 号の刊行を目指しており、現在までに第 1～6 号が上梓されている。第 7 号は校正中である。執筆を希望する場合は委員会に申し出て欲しい。

2) 規程委員会： 香西筆頭副会長より、現在事務職員の給与規程の検討を行っている旨の報告がなされた。

（3）研究委員会報告

1) 加熱調理研究委員会（資料 5）： 大越会長より、平成 27 年度をもって活動を終了する旨の報告がなされた。

2) 災害時のメニュー開発に関する研究委員会： 市川委員長より報告がなされた。「根菜類の簡易メニュー」の冊子の修正版を 200 部作成し、各支部に 2 部送付した。以前作成の「災害時炊き出しマニュアル」の冊子同様、厚生労働省や自治体等に贈呈の予定。東北・北海道支部から 70 部追加依頼が届いたので、残部は約 40 部程度だが、希望者は申し出て有効利用して欲しい。市川委員長が今年度で退職となるため、次年度から委員長を石井副会長に交代する。

3) 次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理研究委員会（資料 6）： 長野副会長より、資料 6 に基づいて報告がなされた。農文協での出版に向け家庭料理編集委員会(委員長：中澤弥子氏)を組織した。平成 28 年度大会で、研究成果をポスター発表する。学会誌の「クッキングルーム」6 回分を担当する。家庭料理に関する論文の投稿を推進する。

（4）50 周年記念準備委員会報告（資料 7）： 大越会長より、資料 7 に基づいて報告がなされた。現役員と次年度からの新役員で記念事業委員会を組織する。募金は、学会全体で取組みたく支部の協力を乞いたい。6 月の代議員総会迄に募金の趣意書(案)とリストを作り、新会長名で発送したい。学会パンフレットを刷新する必要があるため、内容に関する提案をお願いしたい。石井副会長を記念誌増刊号編集委員会委員長として学会誌の増刊を、記念出版として、農文協から「全集 伝え継ぐ日本の食事」全 48 巻を刊行予定している。記念出版委員会委員長は長野副会長、副委員長は中澤弥子氏とする。なお、農文協より、学会として 1000 セットの購入が課されている。学会誌の Web 版移行も前向きに検討願いたい。

（5）財務状況の件（資料 8）： 香西筆頭副会長より、資料 8 に基づいて報告がなされた。平成 21～26 年度は、

連続して収支がマイナス計上されたため、正会員費と団体会費 1,000 円の値上げを検討、今年度より実施したが、会員数の減少もあり、さらに経費削減等の検討が必要である。シニア会員制度の設定提案や、研究会への研究費補助の妥当性等について、意見が出された。

【決議事項】

(1) 平成 27 年度大会の余剰金について (資料 9) : 平成 27 年度大会実行委員長の新井庶務担当理事より、資料 9 に基づいて決算報告がなされた。大会長の今井関東支部長より、余剰金が生じたのでその扱いについて学会としてのルールを検討して欲しい旨の提案がなされた。大越会長より、学会に 8 割、支部に 2 割の配分案が出され、了承された。それに付随して、決算が赤字となった場合には学会が赤字分を負担する、準備金として事前に支部に渡す 100 万円は返金する、前大会校から送金された 35 万円は本部に返却して今後は引き継がない、公開学術講演会の経費として本部が 25 万円まで負担する (企画は支部が行う) ことが確認された。

(2) 平成 28 年度事業計画 (案)・予算 (案) について (資料 10) : 香西筆頭副会長より、資料 10 に基づいて説明がなされた。事業計画 (案) については、異議なく了承された。収支予算 (案) については、事業計画との一致を図るため「学会活動費」の中に「50 周年記念事業費」を項目として立てること、「大会補助金」はその内容から「大会準備金」と改称し、全額返金されることを予算に反映させることを条件として了承された。なお、経常収益と経常費用が同じ額になるように予算を立てるべきではないかとの意見が出された。印刷会社の見直し検討の意向の有無について質問が出た。

(3) 名誉会員の推薦について : 大越会長より、江原絢子氏を名誉会員に推薦したい旨の提案があり、異議なく了承された。

【その他】

①平成 28、29 年度役員候補者選出選挙について : 大越会長より、回覧資料に基づいて報告がなされた。

②平成 28 年度功労賞受賞候補者の推薦依頼について : 大越会長より、3 月 31 日をメ切りとして支部長から推薦を受け付ける旨の報告がなされた。

③平成 28 年度学会賞選考委員会の設置の報告 : 大越会長より、飯島藤十郎記念食品科学振興財団に補助金申請書類を提出する関係上、学会賞選考委員会を組織し、委員長を香西筆頭副会長、委員を石井副会長、新井庶務担当理事、石田会計担当理事、今井支部長および磯部支部長に依頼した旨の報告がなされた。

④次期 (平成 28 年度) 大会について (資料 11) : 大会実行委員長の和泉理事より、資料 11 に基づいて報告がなされた。大会期日は平成 28 年 8 月 28~29 日、発表は書画カメラを使用して行う予定である。

⑤次々期 (平成 29 年度) 大会について : 香西筆頭副会長より、お茶の水女子大学を会場として、8 月末に開催する旨の報告がなされた。

⑥各支部の平成 27 年度活動報告・支部交付金の使途報告について : 大越会長より、2 月末までに提出の依頼がなされた。

⑦各支部の平成 28 年度活動計画案・予算案について : 大越会長より、4 月末までに提出の依頼がなされた。

⑧決算審議のため開催する臨時理事会について : 大越会長より、3 月 31 日の決算後、4 月 (予定) に監査を受けた後、代議員総会の議決権行使を可能にするため、決算に関する審議は電磁的理事会で行いたい旨の報告がなされた。

⑨平成 28 年度代議員総会 開催日時・場所・目的事項・議決権行使について : 大越会長より、6 月 5 日 (日) にお茶の水女子大学で開催する旨の報告がなされた。

⑩平成 28 年度第 1 回及び第 2 回理事会について : 大越会長より、6 月 5 日 (日) にお茶の水女子大学で開催する旨の報告がなされた。

⑪講演会について : 大越会長より、6 月 5 日 (日) に開催する旨報告がなされた。内容は企画検討中である。

⑫生活科学系コンソーシアム活動について (資料 12) : 笠倉理事より、資料 12 に基づいて報告がなされた。

⑬生活やものづくりの学びネットワーク世話人の件 : 大越会長より、同ネットワークの大竹美登利氏から本学会からも世話人を選出して欲しいと依頼があり、千葉大学の米田千恵氏を推薦したい旨の報告がなされた。

以上

署名人

大越ひろ

香西みどり

小川宣子

市川朝子